

貞塚茂樹

かひづか しげき

支那史學者、文學博士。明治二十七年五月一日東京

生れ、昭和二十一年一月九日歿（九四一八八）。地理學者小川琢治の次

男、物理學者湯川秀樹の實兄。昭和二年京都帝國大學文學部東洋史學

科卒。東方文化學院京都研究所研究員、二十年貞塚家の養子となる。

二十四年京大人文科學研究所教授、同所長、五十九年文化勳章受章。

『貞塚茂樹著作集』全十卷（昭和五十一年一五十二三年刊）がある。

著書『古代の精神』（昭和二十二年十一月一日大阪・秋田屋「新學藝

叢書」）、『隨想湯川秀樹』（合著、昭和二十五年十一月十日甲文

社）、『孔子』（昭和二十六年五月十五日岩波書店「岩波新書」）、

『古の中國と新の中國』（昭和二十九年八月五日創文社）、『毛沢

東伝』（昭和二十一年十一月十日岩波書店「岩波新書」）、『トイン

ビー一人と思想』（合著・社会思想研究会編、昭和二十二年二月十五

日社会思想研究会出版部）、『東洋と西洋』（合著・谷川徹三編、昭

和二十二年十一月二十日毎日新聞社「毎日ライヴレター」）、『文學

への招待』（合著・NHK京都放送局編、昭和二十二年十一月一日大

阪・創元社）、『古代殷帝国』（編、

普及版、昭和二十二年十一月五日み

ずぐ書房）、『諸子百家—中国古代

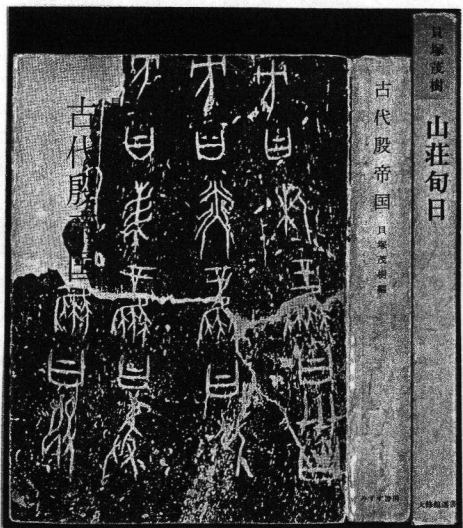
の思想家たち』（昭和二十六年十一月

月二十五日岩波書店「岩波新書」）、

『山莊旬日』（昭和二十七年十月十日

日大修館書店）、『中國の歴史』全

三冊（昭和二十九年九月二十日—四十五年二月二十日岩波書店「岩



『波新書』()、 『日本と日本人』 (昭和四十年八月) 日文藝春秋新社。

再刊・四十九年二月・二十・五百箇川書店 『箇川文庫』()、 『孫文と日本』

() 昭和四十二年一月十六日 講談社 『講談社現代新書』()、 『中國神話

の起源』 (昭和四十八年十一月) 二百箇川書店 『箇川文庫』()、 『中

國古代再発見』 (昭和五十四年四月) 二百箇川書店 『波新書』() 等。